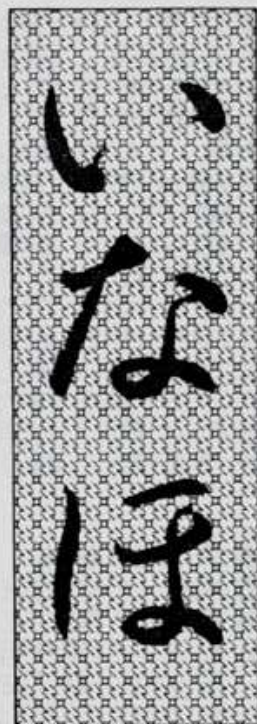


(1)



# いなほ

早稲田大学  
府中校友会  
会長 松本三郎  
編集責任者  
重廣 正

## 会報によせて

会長 松本三郎

来年は、府中校友会創立十五周年を迎え、一つの折り目、節目に当るので会員各位の一層のご理解とご協力をいただき発展に向けての意義深い総会が開催できればと願っている。

前号には、会員各位から多くの発展的なご意見、ご提案をいただいたのでこれを大切に育てて行きたいものである。

最近の母校早稲田大学は、西原総長の二十一世紀に向けての構想をもとに献身的なご努力によって、年々進展をつづけている。また、次期総長も決定して今年は特に大きく輝かしい歴史と伝統が築き上げられ創立百〇八年に相応しい年となった。

一方都下の校友会も続々と誕生し

して二十支部になろうとしていることは母校愛の現われでもあり、お互いの親睦、交流が深まって陰に陽に母校に貢献できることであらう。

校歌「都の西北」に想う。

在学中はむしろ野球の応援歌として親しんできた校歌は、われわれの心の底にしっかり刻みこまれて消え去ることはない。いままで不勉強にしてその内容等について深く究めたことはなかったが、今になってその意味の深遠さが身に沁みて感じる。

校歌の作詞者である相馬御風は詩人、歌人、評論家、国語自由詩の先駆者として名を残している。

明治三十五年早稲田大学に入学し、明治四十年大学創立二十五周年の記念に二十五歳のとき作詞した校歌は、東儀鉄笛の作曲とともに百年近くたった現在でも世相と

変らない「久遠の理想」は不易の歌詞として実にすばらしい。御風が精魂を打ち込んだ作であることがうかがわれる。

御風は、明治十六年糸魚川に生れ早稲田大学に学んでから大正三年三十三歳のとき故郷に戻り良寛や一茶の研究に力を入れ文学活動に生涯を捧げた。晩年はこよなく愛した故郷の大自然を枕に生家で



平成2年8月23日 三多摩稲門連合会 於 黒茶屋

建築に関する総合相談を承ります



### 向山建設株式会社

株式会社 向山 鉄工  
向山建設 第一級建築士事務所

本社 東京都府中市宮西町1丁目23番地 〒183  
電話 武蔵府中 (0423) 63-1411 内  
FAX (0423) 60-2626

### 早稲田大学府中校友会

会長 松本 三郎

府中市本宿町1-8-1

電話 61-4370



満六十六歳で没した。  
生地糸魚川市では御風の遺徳を  
偲んで、昭和五十七年に生誕百年  
祭が盛大に開かれた。

いまでも糸魚川市では夕方五時  
になると御風の作詞「夏の雲」の  
メロディーがチャイムから流れて  
市民に「今日もご苦労さん」と声  
をかけているように市内に響き渡  
っている。

また、御風が東京を離れて七年  
後に詠んだ  
大空を静かに白き雲はゆく

静かにわれは生くべくありけり  
の自筆の歌碑は、町はずれの美山  
公園に建てられ遙かに雪の北アル  
プスを望む雄大な風景とともにハ  
イキングコースの中、市民に親し  
まれている。(糸魚川を訪れる機  
会には歩を進めて見ては)

御風の生家は県の指定文化財で  
もある。なお御風が作詞した県下  
の校歌百余りを含めて全国の校歌  
約二百を作詞しているという。

早稲田大学の校歌は壮大な気風  
理想を歌い上げられて現在でもま  
ずまず校歌の価値が現れている。  
早稲田大学のある限りこの各校歌  
は永遠に歌いつがれて「在野精神」

の源となつて行くであろう。早稲  
田大学の栄光不滅はわれらの誇り  
である。(会報3号にその一端を)

S5 専商

職業Ⅱ過去は教育に自然保護に  
趣味Ⅱ園芸、養蜂、旅行、工作  
一言Ⅱ大宇宙に生活のリズムを合  
わせ、動植物を愛し、太陽  
とともに規則正しく歩む毎  
日こそわが人生。

### 総会模様

S44 教 安井忠昭

第13回早稲田大学府中校友会総  
会は、平成元年11月12日(日)に

府中グリーンプラザ6階の大会議  
室で午後3時から開催されました。

従来、総会当日の進行スタイル  
は、初めに総会を終了させ、講演  
会、懇親会と続きますが、昨年は  
最初に講演会が実施されました。

その理由は、当日の講師が、超  
多忙の方であり、その日も外国へ  
取材旅行に出掛ける直前の時間を  
割いてのものでした。

皆さまもよくご存じの東京放送  
プロデューサーであり、私たちの  
校友である大山勝美氏です。  
氏は、数多くのホームドラマの

話題作を提供し、なかでも、良質  
のテレビドラマ「岸辺のアルバム」  
について記憶に新しい方もおられ  
ると思います。

府中校友会の新谷副会長の知り  
あいということと私達校友のたっ  
ての依頼で多忙の中を来ていただ  
きました。

安井幹事の司会で、講演会の開  
演にあたり重広副会長の開会の辞  
新谷副会長の講師のプロフィール  
紹介と続き、講演会に入りました。  
「国際化時代のドラマづくり」と  
いうテーマでご講演いただきました。

ポータレスの世の中となり、世  
界の情報はいながらにして手に入  
れることができます。

多種多様の情報は、多種多様な  
価値感を生みだします。

この様な国際化の時代の中で、  
お茶の間に向け良質の番組を提供  
することの難しさと責任について  
お話しくださいました。

講演会参加者は、幅広い知識に  
裏打ちされた講師の話にじっと聞  
き聞いていました。  
講演会終了時には、割れるよう  
な拍手の中で、講師をお送りしま

建設業都知事許可3832号  
東京都指定水道工事店  
府中市指定下水道工事店

有限会社 **小澤タイル工業**

〒183 府中市栄町1-8-9

お気軽に!

☎ (0423) 68-2551(代)

給排水衛生設備工事・空調設備工事

**鈴木設備株式会社**

代表取締役 鈴木 正明

(昭和54年理工学部卒)

〒183 東京都府中市栄町2-10-11  
TEL 府中 (0423) 64-4511 (代表)



(3)

した。

参加者は、大いに満足した様子でしたが、一言「奥さんの渡辺美佐子さんも一緒だともっとよかったのに」という声も伝わってきました。

続いて総会に移り、松本会長が所用で欠席のため、重広副会長のあいさつ、大学と校友会そして三多摩各市からの出席の来賓の紹介がありました。

来賓あいさつでは、早稲田大学教育学部教授・理事の橋本宏氏から大学の現状、就職状況、各種の事業など、続いて校友会本部の常任幹事である井上統七氏からは、校友会組織の強化についての要望事項などについての話を交えた祝辞が述べられました。

議事に入り、事業報告、会計報告、役員改選の議題について山口会計幹事が一括して説明し、満場一致で了解を得ました。

特筆すべきは、同好会であるソフトボールクラブの各地での活躍とカラオケクラブの活動、加えて新幹事が8名も誕生したことです。総会も関田副会長の閉会の辞で無事に終了。

小憩後、お待ちかねの懇親会になり、司会も久田幹事にバトンタッチされ、その軽妙な語り口に参加者一同楽しさに笑いの渦。

福永副会長のあいさつ、顧問の大室都議の音頭で乾杯。そして、大学、校友会本部、八王子、小金井、国立、立川、三鷹、日野、調布、多摩、稲城、昭島の参加役員の紹介がありました。

当日初参加の人の自己紹介と歓談の中、なごやかなうちにも、楽しい雰囲気や部屋中に広がり、あちこちで話の花が咲いていました。最後は、応援団で鍛えた林幹事のリードで「都の西北」の合唱、老いも若きも肩を組みあい、早稲田に学んだ喜びを胸一杯に、声を限りに歌い続けました。

「フレリー、フレリー、早稲田」のエールを声高々にあげ、副会長全員のお礼のあいさつ、万歳三唱で、午後9時に全てを終了いたしました。

地方公務に就き20余年、ナイター観戦をこよなく愛する者です。校友に一言、会報へ気軽に投稿を

\*寄稿\*

## “中国の旅”

S 29一法 加藤俊一

晩夏の八月、夫婦して北京、重慶、万県、宜昌、武漢そして上海を九日の旅で楽しんだ。成田から四時間、地上の景色が変わったと思ったら北京空港、市街地まで三十キロ柳の街路樹が美しい。道ゆく人々の顔は日本人に酷似しており大極拳やゲートボールを楽しんでいる。接する中国人は親切で人なつっこく身なりも小ざっぱりしている。中にはチーバオ(女性の中国服)を着た娘さんもいた。片言の中国語が通じない時でも筆談でどうにか間にあった。観光客の多くは台湾、日本、韓国で、天安門事件の影響か西洋人のそれは少く、長江の観光船でイタリア人と会った位である。

中国は何もが大きい。面積は日本の二十六倍、人口十四億、道路は十数車線の所もあり自動車ガスマーズに流れている。どこの観光地へ移動するにもホテルから車で四、五十分、延々と畑が続く。列車にしても二十輛、貨車では四、

見たい!  
聞きたい!  
ケーブルテレビ



シティケーブルビジョン府中

〒183 府中市用町1-4-21 第3福井ビル内  
☎ 0423-61-7273 (大代表)

お問い合わせフリーダイヤル  
☎ 0120-367273



住まいの夢実現をお手伝い  
理想のヒューマンスペースをクリエイト

21世紀を見つめる不動産総合デベロッパー

**東菱産業株式会社**

〒183 東京都府中市八幡町1-3-1 第一東菱ビル

☎ 0423-60-2111 (大代表)

●不動産営業 ●住宅建設  
●ホテルサンライトグループ



五十輛も連結する。  
 食へ物は豊富で多種類の材料を使つて全く同じ調理はマーボー豆腐位であった。朝は大体粥であるが、小豆が入ったりして風味がありうまかつた。飲み物は水が悪いせいとお茶は日本茶の方がよいが、ビールは青島ビール、重慶ビールがうまかつた。

北京の町は故宮や天壇など歴史的な建物と昔ながらの市民の胡同（煉瓦造りの住宅）が大部分であるが、近代的なホテルや市民のあこがれの高層アパート、それとアジア競技大会のための競技場、選手用宿舎などが混在して建っている。好奇心から庶民の住む裏路地を歩いてみた。副食店（スーパーマーケット）には土の付いた野菜や肉魚等豊富に並べられていた。ヨーグルトを買ったら釣銭に汚い小さな人民紙幣が片手に一杯きたのには驚いた。即ち、品物が安いのである。郵便局へ入ったら新聞や雑誌まで売っていた。間口の狭い店に問診医の看板を掲げ、白衣を着た老夫婦が薬を売っていたのも珍しかった。  
 北京から空路重慶へ着き二泊三

日の長江三狭下りのため観光船に乗った。川水は赤茶色、宜昌まで六五キロ、唐詩で有名な白帝城などを見ながら「三国志」の舞台となった港々に停泊する。長江の兩岸は断崖絶壁や岩があるかと思えば山水画にあるような農家があり山丘に胡麻、玉蜀黍、みかん、へちまなどを栽培し、小供が山羊の群れを追い廻していた。（これは景色がワイドのため双眼鏡でみた。）とにかく川面と兩岸の景色は雄大である。

山の中の万県で下船し養蚕工場を見学した。百人以上の女性が蘭特有の臭気と三十度以上もある暑い工場で朝八時から夜十二時までを二交替で糸取り作業をしていた。

最後の晩、船長招宴があり各国ごとに歌を歌うことになった。我々は「北国の春」、イタリア人は「おおそれみよ」を、一番人数の多い台湾人は「台湾国歌」を歌った。船長以下の中国人は複雑な表情を隠さなかつた。

下船地宜昌へ着いた。ここには長江を堰止めた大水力発電所があり、我々の船はパナマ運河のように水門と水門との中に入り、三十

メートルの水位を一時間もかかって下ることが出来た。宜昌空港までの道路は悪く片栗粉のようなねずみ色の土の上を三十分以上も走ったのには閉口した。この空港は日本軍が作りここから重慶爆撃を行ったとのことであつた。また、武漢に着いた時もガイドから当地で多数の市民が日本軍に殺されたとの説明を聞き日本人としていい気持ちはしなかつた。

武漢では李白の詩で有名な「黄鹤楼」へ昇つての長江大橋の眺めは素晴しかつた。ここで青い葉の中に真赤な実を付けた荔枝を初めてみた。また、大橋の両端には着剣した中国兵が警備にあたっていた。

最終地上海は中国で一番大きな都市で人口一、二〇〇万人、雨の街はこんもりと茂つたプラタナス並木、元ヨーロッパ人が住んでいた立派な西洋館が建ち並ぶ（旧租界）。住人を聞いてみたら、複数世帯の偉い中国人が住んでいるそうである。ガーデンブリッジ近くは中国の外で見られなかつた都会的賑やかさであつた。  
 中国は古い歴史と文化を保有し

お酒のことなら

酒商しめのうち

大國魂交番前 (61) 2034

新谷医院

医学博士 新谷 義 克

府中市朝日町2-30

☎0423-61-9419



漢字など日本文化の先輩国であり、奥が深い。観光資源も豊富である。機会を作り又行きたい所の一つである。みなさんにも訪中をお奨めしたい。

職業〓会社員（NTT中央移動通信） 趣味〓読書、スポーツ。  
一言〓今を大切にしています。

## 校友の声

### 環境アメニティ

— 府中も落第 —

S 32教 久田 暁

私は昭和18年以来、縁あって府中を第二の故郷として、この町を愛し、多摩を我が庭のようにいつくしんで住んできた。昭和40年頃までは美しい自然と町が良いバランスを保ち街を出れば田園が拡がり、川は水底まで澄み空気はうまいし心地良い限りでした。郊外電車京王線で、ワセダの角帽を頭に、意気揚々と通学した日々は、経済的には恵まれなくとも、今は味わえぬ充実感と心のゆとりに包まれていた。40年以後は経済の高

度成長と、一極集中のメガロポリス東京の果てしなき膨張の犠牲となって、郊外の小都市はすべて居住のアメニティ（快適さ）を奪われ、建築群と舗装道路と車とゴミにあふれた自然の無い醜い町になってしまった。まだ府中はましな方という大方の見方に、日本人の救い難い性を見る。「百万人以上の大都市は作らぬ」というドイツの市民と政治の英知が日本にはない。

### 最近の興味行動

S 42一文 林 光男

趣味と言える程のものではないが最近好んで行っているものにジョギングとラジオ英会話を聞く事がある。最近と言っても3年位前からまあ本格的にジョギングを始めたのだが、それまでは府中多摩川マラソンの一ヶ月位前になると朝ちよっこっと走るという程度だった。会社で走る仲間が増えたのと工場勤務だったので昼休みに多い時には五、六人で約三、四回を毎日（夏でも冬でも）走るようになった。今年の五月より本社勤務になり昼休みには走りにくくなった

ので朝早く起きて、自宅（北山町）より武蔵台公園迄行きそのジョギングコースを二周し自宅に帰るというコースを走っている。次にラジオ英会話だがこれも工場勤務時、タイマーによって録音されたラジオ英会話をやはり昼休みに聞くようにしていた。現在は朝の時間に余裕があるので8時40分からの生番組を聞くようにしている。継続は力成り”と言うが、あまり片肘張らずに気楽に行っていると、どちらも結構続く者である。是非皆さんも始める事をおすすめします。

### 同好の便り

### ソフトボールクラブ

S 50社会 藤田博久

ソフトボールクラブは年五、六回の試合を行なっています。相手は調布稲門会及び調布三田会、渋谷稲門会、五市対抗（府中、八王子、立川、国立、調布）とで行われています。後期は十月十四日対調布、十月二十一日対渋谷と予定しております。だいたい地元で試合をすることは未だ一度もなく、

<p>一般木材・新建材・型枠材</p> <p><b>株式会社 関田材木店</b></p> <p>〒183 東京都府中市宮西町3-17-1 電話 0423(61)2786 (代) FAX 0423(61)2963</p>	<p><b>福永会計事務所</b></p> <p>所長 福永 寿巳夫</p> <p>〒190 立川市曙町1-30-21 事務所 0425-23-5371 自宅 0423-66-8723</p>
---	--



調布や渋谷のグラウンドで行われて  
います。是非府中でとの声も聞か  
れますが、府中は野球が活発など  
ころでグラウンドがとれないのが実  
情です。今のところ相手様に客人  
として気のひける思いを致してお  
ります。胸を張って府中へ呼べる  
日を望んでいる次第です。人数も  
十五、六名はいるのですが、皆さ  
ん多忙な方が多く、試合において  
平均六名位しか参加して貰えない  
のも頭の痛い所です。うちのチー  
ムは良いチームだと自負しており  
ます。強いチームで皆揃えば優勝  
は決して夢ではない筈です。運動  
不足がちな毎日を送っている方に  
は丁度良いスポーツだと思えます。  
家族でも楽しめまし、女の方で  
も出来るスポーツで、その後の語  
らいも府中の方だけでなく、他市  
とのふれあいも出来、いろいろな  
方とお知り合いになれる機会です。  
また他市の方もそれを臨んでいる  
方たちが多いように思われます。  
このようなサークルに参加をし、  
健康管理と、人とのふれあいを望  
まれる方はご連絡をください。  
お待ちしております。

ご連絡を下さい。電話は〇四二三  
一六四一八八九五です。  
尚、毎月、我々は第一、第三の  
日曜日、午前七時から九時迄の間  
早朝練習を行っています。試合よ  
りも、多い人達の参加が実情です。  
場所は京王線中河原下車、多摩川  
べり土手淵で行っております。こ  
ちらの方の参加もなさって頂けれ  
ば幸いです。

### オートキャンプはいかが？

S 41一法 阿部哲也

従来のキャンプは三角テントを  
背負いハンゴーで食事を作ったり  
していましたが、今は大人が立っ  
ても頭がつかえない居住性の良い  
オーナードジ型のテントが主流  
で、食事もマキなど使わずバーナ  
ーで作りなるべく自由に過せる時  
間を多くし、のんびりするものがオ  
ートキャンプです。乗用車のトラ  
ックやルーフにテントやカヌーを  
乗せキャンプサイト迄車で乗り入  
れできるオートキャンプ場を利用  
します。勿論、水道、トイレは完  
備され、中には温水シャワーや温  
泉付キャンプ場もあります。紅葉  
を見ながらのキャンプも又オツな  
ものです。私は月一回行っており  
ますので興味のある方は是非ご一  
緒に。連絡先

〇四二三一六三一八三一六  
KOA(キャンプ・オブ・アメリ  
カ)キャンパークラブ会員

#### △編集後記▽

突然の広告や原稿のお願いにも  
係わらず、皆様の暖いご協力によ  
り、いなほ第3号が出来ました。  
編集委員一同心より感謝申し上げ  
る次第です。

大学も西原総長より小山総長へ  
と大きく変わろうとしております。  
府中校友会も、来年十五周年を  
迎えることに成ります。又、今年  
より福井氏の多大な協力を賜り  
事務所を寿町第三福井ビル8Fに  
開設することが出来、幹事会やい  
なほの編集打合せ等に利用させ  
て頂いております。又常時委員の  
連絡、知人友人の状況等、お知り  
に成りたいことがあればご利用下  
さい。最近若い校友も多く出席  
されサークル活動も活発になっ  
て来ました。今後を期待……

終りに編集委員の皆さんの忙し  
い中、時間を割いてのポランティ  
アをご報告申し上げ感激(重廣記)

菓子は

府中

青木屋

武蔵野の  
足跡を語り  
家はどに  
とれたまよひ  
菓子



本店 府中ケヤキ並木通り  
電話(0423)62-3006代  
FAX(0423)33-7008